

支部だより

台湾支部

斎藤 攻 (Po昭41)

多分世界中で一番会員数が多い(判明分だけで71名)台湾東京外語会の日本式という新年会が2005年1月14日に開催されました。台北市市内のレトロな雰囲気漂う三板喬会館。当日は寒波襲来の寒い日でしたが、台湾人会員6人日本人会員11人の計17人が参加し、差し入れのワインや紹興酒で楽しいひと時を持ちました。



戦前東京で北京語、広東語、蒙古語を勉強したという大先輩。カナダ、日本と台湾を季節に応じて行き来している先輩。台湾駐在50年という日本の先輩。日本企業でバリバリの現役、台湾大学日本語教授などの台湾組、現在のダイナミックな台湾経済の最前線で報道、商社、メーカー、航空、通訳などに従事している日本組など様々な職業で母校の幅の広さを示していました。

デュッセルドルフ支部

宮原きりは (D平11)

2005年に入り、ドイツでは失業者がついに戦後最悪の520万に達しました。フォルクスワーゲンやジーメンスといったドイツの大企業が次々と、雇用を保証する代わりに賃金据え置きや労働時間延長を決定しています。郵便や病院といった公的機関においてもこの傾向は変わりません。賃金の問題はさておき、週の平均勤務時間38.5時間という「勤勉な」ドイツ人があと2、3時間延長して働いても問題ないだろうと思うのは日

本人的考え方でしょうか。

3月上旬に襲った大寒波も去り、デュッセルドルフにも漸く春の訪れが感じられるようになって来ました。人口57万人のうち約6千人もの日本人が居住するデュッセルドルフですが、外語会会員は現在21名と小規模です。2000年12月のワーキングホリデー制度導入後、街で見かける日本人の年齢層は低くなったようですが、外語会会員は増えるどころか減りつつあります。このところ、会合イコール送別会になってしまっているのがとても残念です。

外語会の魅力といえば、年齢や職種を問わず、懐かしい母校を思い起こしては共通の話題にふれ、和やかな雰囲気に包まれることでしょう。また、各分野で活躍されている皆さんにお会いすることで自分を省み、快い刺激を与えてもらういい機会でもあります。最近の会合として1月下旬にタイレストラン、Noppakaoにて外語会新年会を開催しました。当日都合がつかなかった方が若干名いらっしゃった為、結局6名という小さな集まりになりましたが、副会長伝田氏と同期の福田氏、以前デュッセルにお住まいで当時幹事をされていた依田氏をお迎えし、楽しい時間を過ごしました。どなたもドイツに対する知識、ドイツでの経験が豊富でしたので、昔と昨今のドイツ人と日本人の国民性や習慣比較、日本語の難しさや奥深さなどの話に花が咲き、興味深く聞かせて頂きました。



旅行やビジネスを問わず、また語科を問わず、デュッセルドルフにお出での際には是非下記メモ

メールアドレスにまでご連絡ください。お待ちしております。
dus-gaigo@hotmail.com
新年会出席者：伝田敦夫 (D昭35)、福田幸夫 (D昭35)、栗林重徳 (D昭42)、森正孝 (Po昭54)、依田健一 (D昭56)、宮原きりは (D平11)

福岡支部 2004年度総会報告

森山英治 (C昭52)

毎年恒例の福岡支部総会は11月17日(土)の午後6時から福岡市中央区天神の西日本新聞会館16階「福岡国際ホール」の一室で開催されました。常連の参加者である嘉穂郡稲築町の井上國義氏 (E昭21)、長崎県佐世保市の遠田公夫氏 (Ic昭47)、佐賀市の副島正幸氏 (S昭44) といった遠来の先輩方の他に福岡市近郊に在住の常連の方々も今年は所用のため参加できない会員が多くわずか7名という集まりでした。しかし、昨年に続いて参加の松川正満氏 (Ic昭53) と原幸恵さん (I平9) の他に安部有樹氏 (C平14) と吉満啓一郎氏 (K平14) の二人の若い同窓生の参加があり、新しい世代へのシフトが窺えました。



総会では3期6年支部長を務めていただいた田所信成氏 (Th昭19) に替わって山崎隆治氏 (U昭41) が新支部長として承認されました。また長崎県松浦市の菊地登喜子先輩 (I昭30) からお送りいただいた自作の詩歌集『新しきサイクル』(芸文堂)の出版についても報告が行われました。懇親会では中央に盛られた種々の料理を囲んで母校外語大に関わる話題や互いの近況報告などで大いに交流が深まりました。少人数ではありましたが戦争を体験した世代、二

期校と呼ばれ大学紛争を知る世代、府中の新キャンパス世代と、学生時代の社会背景と大学を取り巻く環境はそれぞれ異なっていますが、世代間の隔たりを越えて同窓生としての絆を強く意識することが出来ました。また今回は支部同窓会の活性化に向けて積極的に意見が交換されました。様々な分野で活躍している支部同窓生のネットワークが活かされ異業種間異世代間での情報交換が行われる賑やかな会になることを願っています。次回は多くの方々の参加を待ち望んでいます。

鹿児島支部発足

上原真人 (E昭41)

翌3月には九州新幹線部分開業1年目を迎えるという2月19日、鹿児島中央駅近くのホテルで鹿児島支部が発足しました。これまで長い間東外大の卒業生が県内にどれくらいおられるのかさえ見当もつきませんでした。昨年6月に一部の者が集まって支部を発足させようということになり準備を進め、この日を迎えました。本部からの県関係者名簿(81名記載)をもとに九州外勤務と思われる方を除外、結局43名の方に案内状を送付、そのうち36名から創立総会に「出席」または「欠席」の返事をいただきました。この36名の方をさしあたっての支部の会員と考えています。

当日は、20歳代から70歳代までの14名の方が県内各地から参集してくださいました。職種も県庁・市役所等の公務員、大学・高校・予備校等の教員、会社役員、書店経営、専門学校生、悠々自適の方等々多士済々でした。年代の差こそあれ、同じ大学で学んだという共通の糸で結ばれて、初対面とは思えない楽しい時間を過ごせました。これからもさらに豊かなおつきあいができるように願っております。今後当支部の会は、11月第2土曜日に設定することになりました。次回は今年11月12日(土)です。多数御参加ください。

[自宅] 〒890-0031鹿児島市武岡1-29-16

TEL099-282-8972

e-mail: m-uehara@po.synapse.ne.jp

関西支部

総会で池端学長が講演、改革推進に意欲

大塚圭一郎 (F平9)

5回目を迎え、すっかり春の恒例行事となった東京外語会関西支部総会が4月16日に大阪市北区の東洋ホテルで開かれた。池端雪浦学長が「法人化後の母校と今後の課題」のタイトルで東京外国語大学の現状や将来構想を紹介し、学長として2期目となる2007年まで改革を推進することを明らかにした。72人が出席した。

池端学長は、学長就任後にとりわけ力を入れてきた事柄として、東京都府中市へのキャンパス移転事業と、研究と教育の充実を挙げた。うちキャンパス移転は「都心部の地価下落により、西ヶ原の旧キャンパスの売却で、府中市朝日町の敷地をすべて買うわけにはいかなかったが、文部科学省の尽力で2006年度には土地購入は完了し、建物の建設も今年度中に9割以上が完了する」との見通しを示した。

一方、研究と教育の充実については、文科省が優れた研究や教育に補助金を出すプログラムを次々に企画しており、それに積極的に応募し採択されることで、めざましい成果を上げていることを強調。「21世紀COEプログラム」や「特色ある大学教育支援プログラム」に選ばれたのに続き、日本にいる外国人の児童や生徒への学習支援活動が「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」に採択されたことなどを紹介した。池端学長は、そうした単科大学では有数の快挙によって得られた補助金で、「(運営費交付金の削減で)細る幹から枝を伸ばし、葉を繁らせて、逆に幹に栄養を還流させる努力をしてきた」と苦労を振り返った。

今後の改革については、大学院博士前期課程が2006年度から、現在の言語・地域別の7課程から「言語文化専攻」や「国際協力専攻」など4課程に再編され、5年制の学部・大学院一貫の特化コースも導入されることを表明。また、今年度から大型の「中東イスラーム研究教育プログラム」が開始され、この分野で世界的拠点大学を目指しており、こうした積極的な取り組み

で「東京外大を国際的にも魅力ある存在にし、世間で存在感ある大学にしたい」と意気込んだ。

5年連続で駆けつけてくださった東京外語会の中村博理事長 (E昭29) は、関西支部が健全財政で運営していることを「幹事や出席している皆さんの努力のたまものだ」と評価。さらに中村理事長は、昨年4月の国立大学法人化によって「在校生と父兄、教職員、卒業生で(東京外大の)おみこしを担いで競争しないと負ける可能性がある。東京外語会の終身会費は大学と一緒にあって在校生や留学生、教職員のために使うので、払っていない方には納付をお願いしたい」と訴えた。大阪外国語大学同窓会「咲耶会」の阪本敏副会長からは「咲耶会は大阪での総会の出席者も150程度だが、東京外語会は関西支部でもこれだけの出席者がいることに結束力を感じる」との言葉をいただいた。



総会後の懇親会は、岩田邦郎氏 (Po昭22) の乾杯の発声で幕を開けた。支部最高齢の相原春雄氏 (C昭6、97歳) が格調高い詩吟で参加者を魅了したのに続き、一同は名物の「キンキラ節」を合唱して盛り上がった。今年は総会前に対川(つがわ)秀夫氏 (Po昭49) が伸びやかな旋律のボサノバを弾き語りし、懇親会の中締めを担った森谷輝司氏 (S昭18) もギターを片手に歌うなど、音楽も存分に楽しめる内容になった。

来年の総会は、4月22日に同じ東洋ホテルで開催する。

(東京外語会関西支部幹事、共同通信社大阪支社経済部記者)